

まくだけのかんたんネキリムシ類防除!

ネキリエース[®]K

イソキサチオン粒剤

ネキリムシ類



ねぎ/幼虫による茎の食害



だいこん/老齢幼虫による食害痕



カブラヤガ幼虫



カブラヤガ成虫

特長



●処理がかんたん!

ベイト剤だから、土壌表面や作物の株元にまくだけ。省力的!

●老齢幼虫にも高い効果!

ネキリムシ類の老齢幼虫にも高い効果を示します。

●コオロギ類にも有効!

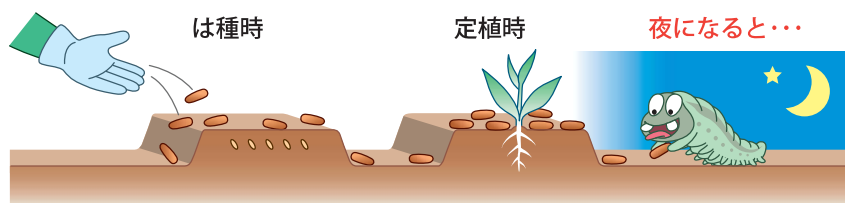
ネキリムシ類だけでなく、コオロギ類にも有効です。

●優れた誘引作用!

優れた誘引力で確実に虫を引きつけます。

上手な使い方

〈は種時〉または〈定植時〉に土壌表面株元処理



●雨が予想される時には、使用しないでください。

雨が降ると、処理した粒剤が崩壊してしまい、効果不足の原因になります。

●被害が見えたら処理してください。

予防的に処理しても、その後ネキリムシ類が発生してくるまでの期間が長いと、効果が期待できません。

殺虫剤 ネキリエースK[®]

●有効成分：イソキサチオン・・・0.50%

殺虫剤分類 1B

●人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

●適用害虫名と使用方法

(2019年2月現在の登録内容)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	イソキサチオンを含む 農薬の総使用回数	使用方法
はくさい	コオロギ類 ネキリムシ類	3kg/10a	は種時又は定植時～生育初期 但し、収穫14日前まで	1回	1回	土壌表面株元処理
キャベツ、だいこん はつかだいこん	は種時又は定植時					
ブロッコリー	定植時～生育初期 但し、収穫14日前まで		4回以内	4回以内		
レタス	は種時又は定植時～生育初期 但し、収穫21日前まで		2回以内	2回以内		
非結球レタス	は種時又は定植時					
なばな	発芽期まで		1回	1回		
だいず	は種時～本葉2葉期		2回以内	2回以内		
えだまめ	収穫21日前まで			5回以内 （粉剤及び粉粒剤のは種時の処理 は合計1回以内、粉剤及び粉粒剤 の定植時は合計1回以内、粉剤の 土壌表面散布は1回以内、粒剤の 土壌表面株元処理は2回以内）		
いちご	ハスモンヨトウ		収穫前日まで	1回	1回	
葉ごぼう	ネキリムシ類		は種時～子葉展開期	2回以内	2回以内	
さといも、ごぼう			収穫14日前まで	4回以内	4回以内	
かぶ			収穫30日前まで	2回以内	2回以内	
ねぎ					4回以内 （は種時は1回以内、植付時は 1回以内、植付後は2回以内）	
にんじん			発芽期～生育初期 但し、収穫14日前まで	4回以内	4回以内	
メロン	コオロギ類	収穫直前まで	1回	1回	配置	
えごま(種子)	ネキリムシ類	定植時		1回	土壌表面株元処理	
たばこ		植付時		2回以内	株元処理	

●ブロッコリー・ネキリムシ類(カブラヤガ)に対する効果

2004年 日本植物防疫協会研究所
宮崎試験場

		防除価
		0 50 100
ネキリエースK	3kg/10a 株元処理	95.7
対照A剤	6kg/10a 全面処理	73.9

●発生状況：放虫(各区5齢幼虫20頭)

●品種：緑嶺

●定植：10/21

●処理方法：10/21に所定量を株元処理。

●調査：処理9日後に食害株数を調査。

●考察：対照剤の定植時全面処理土壌混和と比較して優る高い効果が認められた。

△効果・薬害等の注意

- 被害の発生をみたら作物の根際にそのまま散布してください。
- つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- メロンに使用する場合には、以下の点に注意してください。
 - ①収穫前増糖時の乾燥期にコオロギによる食害が発生するので、食害防止に使用してください。
 - ②果実にかからないように果実周辺に1ヶ所あたり数粒ずつ容器に入れ、土壌表面、あるいは床面に配置してください。
 - ③雨や水がかかると効果が低下するので、ハウスで使用する場合は、できるだけ灌水がかからない場所に配置してください。また、露地で使用する場合は、降雨の予想されるときには使用をさけてください。
- 犬、猫などペット類、家畜が食べないようにしてください。食べる可能性のあるところでは使用及び保管をしないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。

△安全使用上の注意

- 誤食などにならないよう注意してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをしてください。

治療法：本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。

水産動植物への影響：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布器具及び容器の洗浄水は河川などに流さないでください。また、空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、食品と区別して、小児の手の届かない、直射日光をさけ冷涼な乾燥した所に保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。